

主な意見要旨と本市の考え方

○御意見者数：53名・2団体、 御意見総数：96件

1 ビジョン策定の趣旨（19件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○ビジョンの趣旨に賛同する。	2	ビジョン策定の趣旨に御賛同いただいた御意見を踏まえ、ビジョンを策定し、着実に推進することで、京都経済の活性化や安定した雇用の創出とともに、原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会を実現するグリーン産業の振興を目指して参ります。
	○成長が期待されるグリーン産業の振興に資するビジョンの策定は、京都市の産業施策の推進や持続可能かつ豊かな社会の建設にとって大変重要である。 ○既存の市政の政策と整合性をもち、短期、中期、長期のビジョンを明確にして取り組んでいくことは大変良い。 ○京都議定書が採択されたまちとして、我が国や世界に先駆け、環境・エネルギーに関する新製品や新技術の研究開発により産業を活性化させていくことは大変評価できる。 ○これまで取り組んできた事業の発展や京都の強みを活かした新たな取組への幅広い支援を推進していくことは、非常に良い考えである。 ○子供たちの未来にとって非常に重要な取組である。 ○全体的によくまとまっている。 ○飛躍感はあるが、ビジョン策定には仕方がない。	13	
2	○グリーン産業の定義が広いことから、特定の分野を対象としないのか。 ○京都地域は幅広い分野において事業展開の可能性を有していることから、重点分野の過度の絞り込みには向かないということはいよい考えである。	3	グリーン産業は、取り組まれている分野の裾野が幅広いとともに、京都市では幅広い分野に事業展開できる可能性を有しています。また、グリーン産業は、国の制度や規制、技術の進歩、新たな資源の開拓などにより情勢が大きく左右されます。こうした点を考慮し、ビジョンについては、今後、変動する社会・経済環境に応じて柔軟かつ機動的に対応し支援策を展開できるよう、過度な重点分野の絞り込みは行わず、また個々の事業は別としてビジョン全体の工程を示さないことが適切であると考えております。
	○2020年までの6年後の施策の時間軸はどのように考えているのか。		
3	○様々な都市で産業振興計画のようなものは見かけるが、グリーン（環境・エネルギー）産業に絞った振興計画は全国では初めてなのか。	1	ものづくり産業を中心としたグリーン（環境・エネルギー）産業に特化した産業振興ビジョンの策定は、政令指定都市の中では京都市が初となります。

2 グリーン産業の現状と課題（4件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○環境・エネルギーに関する技術力は日本が世界一である。今後も技術面やコスト面で優位性が保てるような施策を期待したい。 ○世界的な動向に目を向けたビジョンを策定し、企業の研究開発の支援を望む。	4	京都の強みを最大限に生かし、産学公の多様な連携のもと、世界をリードできるよう日本の技術開発力の向上に資する取組を推進して参ります。

3 京都市の現状と課題（2件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○京都は歴史のある、大学の知の集積した街であり、グリーン産業の素地があり、成長を期待する。	1	京都市にある、優れた研究成果を有する大学等、幅広い分野でのものづくり企業の集積、産業支援体制の強固な基盤、京都のブランド力や進取の気風などの強みを生かし、産学公の連携のもと、グリーン産業の振興に一層取り組んで参ります。
2	○グリーン産業を振興するにあたり、京都の強みは。	1	

4 基本的な考え方（7件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○増加し続ける電力使用量を省エネ技術の実証と採用で削減することを期待するとともに、積極的設備補助で再生可能エネルギー化を進め、化石燃料使用量を減らすことを期待する。	1	ビジョンにおいて、「京都市エネルギー政策推進のための戦略」に掲げる「徹底的な省エネルギーの推進」と「多様な再生可能エネルギーの飛躍的な普及拡大」を目標に取り組み参ります。
2	○エネルギー問題は国民にとって非常に関心が高まっているため、興味深い内容になっている。 ○京都市の「エネルギー政策推進のための戦略」でも示された「原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会」を目指すことに大いに賛同する。 ○エネルギーの安定供給を確保するためには燃料特性、エネルギーセキュリティ、環境負荷、コスト等を総合的に勘案したうえで、最適な電源構成とする必要がある。安全が確認された原子力発電所を活用し、多様な電源を確保することで、燃料調達リスクを分散し発電コストの安定化や安定供給を図ることができ、持続可能な社会を創ることができるのではないかと。 ○原子力発電にいつまでも依存することは問題が多い。当面は原子力や化石燃料による発電に依	4	「京都市エネルギー政策推進のための戦略」においては、東日本大震災に伴う福島第一原発事故による甚大な被害を踏まえ、「原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会」の実現を目指すべき社会としてとりあげています。 そのため、基礎自治体として、徹底した省エネや再生可能エネルギーの導入が求められるなか、本ビジョンによるグリーン産業の振興がその一役を担うことで、達成できるよう推進して参ります。 また、原子力発電の稼働につきましては、中長期的には原発に依存しない方向性のもと、短期的には稼働の必要性を明らかにし、万全の安全性を確保し、地域住民の理解を得る必要があり、国の責任のもとに決定していくべきであると考えております。

	存せざるを得ないにしろ、国際都市・京都として再生可能エネルギーの普及・開発に取り組むべきである。		
3	○本文P10.(2) 実現に向けた取組方針の1段落目「京都の持つ強みが最大限発揮され」と前後の文のつながりが分からない。	1	御意見を踏まえ、以下のように本文を修正しております。 「グリーン産業の特徴を勘案しつつ、産学公をはじめとした「京都」の持つ強みが最大限発揮されるよう、中小企業等の自らの強みや力量に応じた支援を行うなどきめ細かく取り組んでいくこととする。」
4	○本ビジョンのグリーン産業の対象はものづくりを対象にしているのか。	1	ビジョンは、これまでの施策を体系化する視点から、ものづくりの観点から策定していますが、製品開発から商品化、販路拡大という一連の過程においては、単なる生産活動だけでなく、ものづくりに関連する多くの産業の振興にもつながるものと考えております。

5 施策の方向性

(1) 施策の方向性（産学公連携によるプロジェクトの推進）（8件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○日本でも有数の大学、企業が集積した京都の利点を生かし、学や企業の持つ技術や潜在的な能力を結び付け、新たな技術や産業を創出する施策を期待したい。 ○革新的な技術を世に出すためには、大学の研究と企業の技術力をつなぐことが必要であり、コーディネータの方々につきぎの仕事を期待したい。	4	京都の強みである産学公連携を最大限生かしたプロジェクトの推進により、社会構造の変革を促す革新的な技術開発を実現して参ります。とりわけ、連携の促進に当たっては、コーディネータの役割が重要であるとしています。
2	○スーパークラスタープログラムにおける省エネデバイスの社会普及などの省エネルギーへの取組は、今後の日本のエネルギー環境には不可欠であり、中小・ベンチャーも参画した新産業の創出を期待する。	3	スーパークラスタープログラムについては、大学、中小企業を含む参画企業をはじめ、京都市、京都府等のオール京都体制のもと、革新的SiC（炭化ケイ素）パワー半導体が社会実装できるよう取り組んで参ります。
3	○「CO2の水素輸送システム」、 「CO2のエネルギー利用」は何を意味しているのか理解できない。	1	御意見を踏まえ、本文を修正しています。 (P14に追加)

(2) 施策の方向性（ベンチャー・中小企業への総合的支援）（12件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	<p>○京都の中小企業や中堅企業にとってグリーン産業に進出できるような具体的な支援策を期待する。</p> <p><主なご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー・中小企業の開発製品の積極活用 ・中小企業と大企業との連携支援 ・グリーン技術の海外展開の支援 ・京都市の認定制度等におけるグリーン分野の特別な支援策 ・グリーン産業企業を京都に誘致するための税制支援 	6	<p>ビジョンにおいては、京都経済の活性化と安定した雇用の創出を実現するため、京都経済を支えている多様なベンチャー・中小企業の成長・発展が不可欠であるとしております。このため、グリーン産業の振興に当たり、中小企業等への総合的な支援を行うこととしております。</p> <p>具体的には、ベンチャー企業の製品を率先的に採用する「ベンチャー購買新商品認定制度」など既存施策を有効に活用していくとともに、海外展開への支援など新たな施策についても積極的に活用するなど、中小企業等の潜在能力が高められるよう振興施策を検討・実施していきます。</p>
2	<p>○中小企業支援を対象とした各種支援策や制度をもっと企業に対して周知するようにしてほしい。</p>	1	<p>御意見のとおり、一層、各種支援制度の周知に努めて参ります。</p>
3	<p>○本ビジョンの「施策の方向性」では、中小企業の振興を重点的に挙げられているが、大企業に対してはどのように考えているのか。</p>	1	<p>ビジョンの推進に当たり、大企業も研究開発や販路拡大など大きな役割を担っていることから、中小企業等との円滑な連携が形成できるよう取り組んでいくこととしております。</p>
4	<p>○すべての企業が、新しいグリーン技術の開発や市場に参入できるわけではない。伝統産業などグリーン分野に関連する企業でなくでも、生産性を向上させるための技術支援なども検討すべきではないか。</p> <p>○中小企業の製造現場を省エネ化、効率化する取組を期待する。</p> <p>○一般的な中小企業に何を期待されているのかわからない。</p>	4	<p>グリーン産業の振興に当たって、すべての中小企業の方々が取り組むことができるものではないと考えております。</p> <p>ただし、ビジョンの成果として革新的なシステムや技術が生み出され、それらが多くの企業において省エネ・節電への取組や生産工程の改善等を加速させ、エネルギーを賢く使うことへの意識が定着していくものと考えております。</p> <p>このための施策としては、「京都産業エコ・エネルギー推進機構」における支援事業等により普及に努めていくこととしています。</p>

(3) 施策の方向性（人材・企業の集積）（5件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	<p>○京都にある産業振興拠点を1つに集約し環境・エネルギー分野に特化した総合的な研究都市を京都市で開拓していけないか。</p> <p>○公的な支援機関が個々に活動するのではなく、中小企業から見てわかりやすい取組を行っていくべきある。</p>	2	<p>ビジョンにおいては、さまざま拠点の連携を促進し、相乗効果を発揮させることとしていますが、いただいた御意見につきましては、今後の施策の取組を踏まえ検討していきます。</p>
2	<p>○高校生や大学生に最先端の技術を教えるようなセミナーがあっても良い。</p>	1	<p>グリーン産業の振興に当たりましては、学生、中小企業の技術者など様々な視点から人材育成事業を実施していく必要があるとしております。</p>
3	<p>○中小企業の技術者に対して、大</p>	1	

	企業の直面している課題を共有できるような場を作ることで、より具体的な産産連携が実現できるのではないか。		このため、学生や中小企業の技術者を対象に加えるよう本文に明記し、具体的な施策につきましては、御意見を参考に、今後の施策を検討、推進して参ります。
4	○京都の大学と連携して、優秀な人材（学生）を育成し、そのまま京都に根付くよう、京都市が研究環境を整えるべき。京都で起業しやすいムードになることで、雇用創出の効果も出る。	1	「グリーン産業の振興に当たっては、 <u>学生や中小企業の技術者を含め</u> これらの人材育成事業を有効に活用・推進し、振興のための基盤を強固にしていく。」

(4) 施策の方向性（京都ならではのスマートシティの構築）（11件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	<p>○岡崎地域エネルギーネットワークの構築とエコ・ZOOなどの「ショーケース化」の取組に着実な推進を期待する。</p> <p>○スマートシティ京都研究会等で検討されている、地震などの災害に強い地域の構築は、今日、極めて重要であると考えます。</p> <p>○スマートシティの構築とともに、産業振興が進むような配慮をすべきである。</p> <p>○スマートシティの構築（ピークシフト、ピークカット）により、社会全体でエネルギーを賢く使うシステムを実現させてほしい。</p> <p>○スマートシティを構築しエネルギーの有効利用に取り組むにあたっては、関係箇所、関係事業者等と十分に連携を取りながら進めてほしい。</p> <p>○ほかの地域が取り組んでいるスマートシティと比べて京都市ではどのように差別化されようとしているのか。</p> <p>○スマートシティの取組は、市民生活にどのような効果があるのか。</p>	9	<p>スマートシティは、防災の強化、公共交通システムの確立、住宅地や商業施設のエネルギー管理など、それぞれの地域の課題を解決するため、全国各地で様々な取組が行われています。</p> <p>京都市においても、京都に見合ったモデルで知恵を絞りながら推進していくものと考え、防災、京都らしいすまい、歩くまちの推進、国際観光都市などの課題解決に向けたプロジェクトや、岡崎地域におけるエネルギーの管理とエコのショーケース化に取り組みます。</p> <p>先端技術による安心・安全、ムダのないスマートな社会システムや魅力あるまちづくりの実現により、市民生活の質の向上を図ることとしております。</p>
2	<p>○公的機関だけではコジェネ等のエネルギーの効率的な消費にならない。</p> <p>○小型・小風力の発電技術を岡崎エリアで活用してみてもどうか。</p>	2	<p>「岡崎地域公共施設間エネルギーネットワーク形成実証事業」においては、岡崎地域の各公共施設の現状を踏まえ、どのようなエネルギー源の組み合わせが効率的なエネルギー使用となるのかについて実証を行います。</p>

6 ビジョンの推進に向けて（6件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○取組方針, 成果指標を着実に推進・達成していただきたい。	1	成果指標を達成し, 京都におけるグリーン産業振興につながるための効果的な施策を推進して参ります。
2	○成果指標の数値の根拠は。	1	過去の実績をもとに, ビジョンによる取組の加速化を加味して算出しています。
3	○成果指標にあげられているプロジェクトはどのようなものをイメージしているのか。	1	地域の産業支援機関が関与している事業の成果として, 事業化・社会実装へと進展, 波及するプロジェクトや, 新たに基礎的な研究開発に結び付くプロジェクトなどを想定しています。
4	○ビジョン推進による雇用創出への効果は。	1	グリーン産業の雇用状況を具体的に把握することは難しいため, 雇用創出効果を数値目標に掲げておりませんが, 国の成長戦略においてもグリーン産業の雇用規模は拡大し続けていることから, ビジョン推進により雇用創出に着実に貢献できるものと考えております。
5	○京都のみならず, 他府県との連携や, 関西圏の中での取組については検討しないのか。	1	ビジョンの着実な推進により, 関西圏のみならず日本におけるグリーン産業の発展に寄与する取組を実現して参ります。このため, 御意見を踏まえ, 関西圏と連携した取組も必要であることから, 本文を修正しております。 「円滑な事業化促進等を図るため, 国や <u>関西圏</u> をはじめとした関係機関との連携に積極的な役割を果たしていく。」
6	○一つの担当部署だけでなく, 横断的な各部局が連携して取り組むことを期待する。	1	グリーン産業の振興は, ものづくりのみならず, 観光, 農林業, 環境政策など, 幅広い政策分野に関連しています。このため, 全庁をあげて推進し, 各分野別計画における施策推進に反映させるとともに, 進行管理を着実にを行うこととしています。

7 その他（22件）

	御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
1	○市民から見て内容が難しい。 ○文章が長く, 難しい表現が多い。	6	ビジョンの内容・記述につきましては, ビジョンの性格上, 科学的又は専門的な記述とならざるを得ない場合がありますが, できるだけ分かりやすい記述と内容の周知に努めて参ります。
2	○本ビジョンは総論である。今後, 具体的な各論を期待する。 ○具体的な施策のイメージができない。	3	ビジョンは基本的な方向性をまとめたものでありますが, 今後, ビジョンに基づきグリーン産業の振興を着実に進めるため, 具体的な施策を実施して参ります。
3	○ビジョンによりその方向性と目指すべき姿をデザインしたパンフレット等がほしい。 ○このビジョンの期間が2020年までとしているが, ビジョンに示されている政策により, 市民や観	7	ビジョンの推進により「京都市エネルギー政策推進のための戦略」に示した「京都の姿」の実現を図るものであり, 本文に該当箇所を掲載しております。 (P10に追加)

	<p>光客にどのような影響を与えるのか、わかりやすくしてほしい。</p> <p>○目指すベンチマーク都市があれば、わかりやすくイメージがつくと思う。</p>		
4	<p>○ビジョン推進に当たって具体的に取り組んでほしい。</p> <p><主な御意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水浄化技術の研究開発等の支援 ・「伝統工法」住宅の高断熱化 ・最新技術を用いたレトロなチンチン電車の運行 ・シニアベンチャークラブによるリサイクル品のジャストインタイム ・経済的に余裕がある人が京都に戻り、簡単な職に就けるような環境ビジネスの提供 ・現場レベルでの意見を踏まえた施策の推進 	6	<p>多くの方々から貴重な御提案をいただきました。これらの御意見につきましては、今後の施策の検討、取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>